



# 聖心女子大学

University of the Sacred Heart, Tokyo

## 2018(平成30)年度 一般入試 解答と講評

### 目次

#### 【3教科A方式】

国語	…………… p. 1
英語	…………… p. 2
フランス語(解答)	…………… p. 3
日本史	…………… p. 5
世界史	…………… p. 7

#### 【3教科B方式】

国語	…………… p. 9
英語	…………… p. 10
日本史	…………… p. 11
世界史	…………… p. 12

【総合小論文方式】(講評)	…………… p. 13
---------------	-------------

### 3教科A方式 国語

#### 【解答】

問一 (1) 抑揚 (2) 緩和 (3) 夜更(「夜深」も許容) (4) 仲裁 (5) 無性  
問二 (6) きんこう (7) かいむ (8) ちまなこ (9) せっちゅう (10) ぬぐ

#### 【講評】

出題された漢字は、読み・書きとも高等学校の教科書で使用されているものです。全体に書きより読みの方がよくできていました。解答は、点画をはっきりと大きく、丁寧に書くよう心掛けてください。

#### 二

#### 【解答】

問一 ア④ イ② ウ③ 問二 ① 問三 ③ 問四 ② 問五 下の講評を参照 問六 ④  
問七 ① 問八 ④ 問九 ④

#### 【講評】

問一は前後の文脈ですんなり答えが出るもの。問二は否定的でない表現を選びます。問三は、村の悲惨な光景に衝撃を受けた結果を読み取ります。問四は「取りつきようがない」という趣旨の選択肢を選びます。問五は、「不満」が自分の表現力、言葉に向けられていることがポイント。村の光景や、それを導いたものに不満を持ったものではありません。問六は、良い土らしい見た目がかえって被害の大きさを伝える、ということ。問七は、「最初の疑問」が「何故(なぜ)」であったことに注意。問八は、「無関心な態度」「冷淡な侮蔑」に、被害を受け入れる諦(あきら)めを見て取る④が正解。①は「事件」という言葉が、②・⑤は自分を守りたいという姿勢が、③は忘れたいという思いが、本文と合致しません。この大間で正答率が特に高かったのは問一・問七、低かったのは問三・問四でした。

#### 三

#### 【解答】

問一 A ① B ③ C ④ 問二 a④ b⑧ c⑤ 問三 d② e④  
問四 (1) ② (2) ① (3) ⑤ 問五 ① 問六 ② 問七 下の講評を参照 問八 ⑤ 問九 ⑤

#### 【講評】

問一は基本的な古文単語と文法の問題です。問二・問三も基本的な文法問題で、問三は頻出する「なむ」の識別問題です。問四は主語を問うもので、敬語の使用や文脈から正確に読解できているかを問うています。問五・問六は文脈読解の問題ですが、いずれも敬語の有無から主語が絞り込めます。「わびし」「はしたなし」の意味も正しく押さえてください。問七は、まず「我」が光源氏をさすことを理解した上で、直前の「紫の上が無心に笑みを浮かべている様が、とてもかわいらしい」との記述に着目します。「うつくし」の意味が大きなポイントになります。問八は本文全体の内容理解を問うものです。問九は基本的な文学史の問題です。この大間で正答率が特に高かったのは問二 a b・問四(3)・問五、低かったのは問八・問九でした。

#### 四

#### 【解答】

問一 ア④ イ③ ウ④ 問二 下の講評を参照 問三 家畜 問四 ⑤ 問五 ②  
問六 ②・④ (順不同)

#### 【講評】

問一は前後の文脈から判断します。イ・ウは、慣用句や熟語が頭に入っていれば正解率が上がります。問二は、モンテスキューが「人間性の本質を形成するものは色である」と考えていることが本文中に示されており、その部分をふまえてまとめます。理由を問う問題ですから、「～だから」「～という理由」のような解答形式が求められません。問三の正答率は高かったのですが、家畜の「畜」に草冠をつける誤りが目立ちました。抜き出し問題は正解箇所を発見した後の注意力も大変重要です。問四は文脈に惑わされず、熟語の意味を正しく理解していることが重要です。問五は登場人物を落ち着いて整理すれば答えは明らかです。問六は全体の論旨を問う問題です。この大問では問一ウの正答率が低く、ほかは全体によくできていました。

### 3教科A方式 英語

A方式は従来と同じく大問3題が出題されました。前年に続き、2題は論説文で、1題は会話文が出題されています。文章の長さや設問の数・種類・難易度は例年とあまり変わっていません。ある程度長い文章を読んで筆者の主張をしっかりと理解し、それを自分のことばで説明できる力が必要とされます。受験生の皆さんには、日ごろから学校の勉強を中心として読解力、作文力、語彙力、文法力などをバランスよく身につけておくことを期待します。

#### I.

##### 【解答】

問1. (1) ④ (2) ① (3) ② (4) ③

問2. (a) ③ (b) ① (c) ② (d) ③

問3. [A] ④ [B] ①

問4. ③

問5. They develop it before the age of five.

問6. princesses

問7. ③

問8. ④

##### 【講評】

子どもの物の見方や文化・社会に関する認識が、物語によって形成されることを論じた文章です。問1から問3までは、空所補充や語句の意味を問うもので、確実に得点したい問題です。この中で make a difference 「重要である」の意味がいちばん低い正答率でした。問5と問6は記述式ですが、文章中に割合容易に答を見つけることができる問題で、まずまずの出来でした。問4、問7、問8は内容理解の問題で、この中では問7が難しかったようです。問7は最後の文の解釈に関わる設問で、正確な読解力が問われます。問8は文章全体の趣旨に関わる問題で、比較的よくできていました。

#### II.

##### 【解答】

問1. ア ② イ ② ウ ② エ ②

問2. (1) ② (2) ④ (3) ④ (4) ④ (5) ①

問3. 1. ④ 2. ② 3. ④ 4. ④

##### 【講評】

近年、大問の一つとしてこのような会話文を出題しています。日本とオランダのコミュニケーションスタイルの差が話題となっている文章です。語句の意味を問う問2の(2)(3)は正答率が低かったですが、内容を問う問3の2. 3. 4. 中でも最後の4. はよくできていました。比較的平易な英語でなじみやすい内容でもあり、本文全体の趣旨はかなりわかりやすかったようです。

#### III.

##### 【解答】

問1. (A) exclude (B) attainment (C) loss (D) deepen (E) excess (F) strength

問2. (1) ① (2) ② (3) ② (4) ① (5) ① (6) ② (7) ②

問3. 私が成長する過程で祖父母が周りにいてくれたために、私は年長者のことをより意識するようになった

問4. ③

問5. 下記の講評参照

##### 【講評】

人々が年配者と関わることの意味について述べた文章です。問1は派生語の問題で、毎年出題されていますがそれほど出来がよくありませんでした。普段から単語を関連語とともに記憶するようにしてほしいと思います。問2はそれぞれの文が本文の内容と一致するかどうかを判断する頻出の問題で、(7)以外はかなりよくできていました。文章の主題を問う問4の正答率も高く、文章全体の意味をとることは容易だったようです。問3の和訳は出来の良い人と悪い人が大きく分かれ、差がつく問題でした。地道な勉強を積み重ねてきた人は、ここでその成果がはっきり出ると思います。問5は毎年出題されている自由英作文で、やはり差がつく問題ですが、今回は比較的書きやすいテーマだったと思います。日ごろから自分の考えを英語でまとめる練習をしておきましょう。

### 3教科A方式 フランス語

#### I.

1. La France est une république.
2. L'année de la commémoration du centenaire de la Révolution française est 1889.
3. Le rôle des Expositions universelles est de présenter au grand public les produits et les réalisations du plus grand nombre de pays possible.
4. Il est un ingénieur spécialisé dans la conception et la fabrication d'ouvrages en fer.
5. Il est inventif et audacieux.
6. Parce que la tour demande beaucoup d'argent, d'investissement et de travail pour une durée de vie bien courte.
7. Une Exposition universelle dure six mois.
8. Parce que les Expositions universelles coûtent cher, et l'État n'avait pas trop les moyens d'engager de telles dépenses.
9. Selon Eiffel, elle sera très utile aux scientifiques. Elle permettra de faire des expériences scientifiques.
10. Plusieurs artistes s'opposent à la construction de la tour Eiffel. Parce qu'elle est inutile et monstrueuse.
11. Parce que ses ouvriers font la grève.
12. Parce que les ascenseurs n'ont pas encore été installés.
13. Ils achètent une tour miniature.
14. Il décide d'acheter une grande maison à Paris avec un jardin et une cour, ainsi que des résidences dans différentes régions de France.

#### II.

##### セヴィニエ夫人の書簡

セヴィニエ夫人は、夫のいるプロヴァンスへと旅立った彼女の娘、グリニャン夫人と離れて暮らしている。それは悲しいことであり、夫人には克服することができない。1696年までに、夫人は娘に数百通の手紙を書き、そうすることで、自分の生きる理由となる絆を保とうとする。

夫人は優しさにあふれた母親なので、全てが心配の種となる。娘が危ないことに遭うのではないか。娘からの返信がすぐに来ない。あるいは来ても、あまりに素っ気なさすぎる。夫人の手紙を読めば、私たちも、彼女の親密さ、苦しみ、不安を共に感じることができる。

侯爵夫人は、差し迫った死がそう遠くないこと、そして信仰心だけが、死に立ち向かうための唯一の武器であることを知っている。

それにもかかわらず、彼女の書いた手紙には、ユーモアが厳粛さと入り混じっている。常日頃、人に感じよく思ってもらおうと心がけるセヴィニエ夫人は、同時代の時事問題について、心をときめかせるような証言を残している。この女流作家は、わが国初の女性ジャーナリストのひとりとなすことができる。

公開されるために書かれているわけではないが、彼女の手紙は、教養のある人々の集まりや、社交界の集まりで読まれることになる。だが、この著作の初版、しかも不完全なものがようやく刊行されたのは、1725年になってのことである。フランス文学史上最も注目すべき書簡集のひとつが、満足のいく版で手に取られるためには、十九世紀まで待たなければならない。

### III.

1. Non, je n' y pense pas.
2. Non, je ne lui en ai pas acheté.
3. Non, je n' y suis jamais allée.
4. Non, je n' en ai pas acheté.
5. Non, je ne l' ai pas vu.

### IV.

1. Cette télévision sera achetée par Julie.
2. La cathédrale a été construite par les ouvriers.
3. Le cours de français est adoré de tous les élèves.

### V.

1. Non, je déteste le brocoli. Parce que je devais en manger tous les jours quand j' étais petite.
2. Je bois de l' eau. Parce que c' est bon pour la santé.
3. Je mange du pain et je bois du café. Parce que je n' ai pas le temps de cuisiner le matin.

### VI.

1. entraîne
2. a été
3. intéresse
4. pratiquais
5. vais

### VII.

1. à
2. en
3. par
4. en
5. que

### 3教科A方式 日本史

(I)

【解答】

問1 ア 推古 イ 鑑真 ウ 応仁 エ 一遍 オ 富岡

問2 (a) ② (b) ① (c) ④ (d) ④ (e) ① (f) ② (g) ③ (h) ④ (i) ② (j) ④

問3 (1) 鞍作鳥(止利仏師) (2) 木簡 (3) 天智天皇 (4) 神宮寺 (5) アメリカ

【講評】

日本国内の世界文化遺産に関する文章を読み、世界遺産と日本史で学ぶ事柄とを結びつけて、政治・社会・文化などについての設問に答える問題です。時代は古代が中心ですが、一部近代史の問題も含んでいます。問1の空欄補充と問3の記述式問題は、いずれもごく基本的な問題で大変よく出来ていました。マーク式の問2も(a)・(d)・(f)・(g)・(j)などは正答率が80%を超えていましたが、一方でとくに(h)は他の設問に比べて、かなり正答率が低い結果となりました。院政期の上皇が白河や鳥羽に離宮を造営したということ自体は、教科書にはっきりと書いてあるわけではないのですが、白河上皇や鳥羽上皇がなぜそう呼ばれたのかという点から類推して考えてほしかったというのが、問題を作成した側の意図です。

(II)

【解答】

問1 (A) 検非違使 (B) 御家人 (C) 番役 (D) 守護 (E) 月行事 (F) 五大老

問2 (a) ① (b) ② (c) ① (d) ② (e) ① (f) ④ (g) ③ (h) ④ (i) ② (j) ①

問3 16世紀半ばに種子島へと伝来したとされる鉄砲は、やがて南蛮貿易の盛行とともに日本各地へと普及

し、合戦のあり方に大きな変化をもたらした。特に織田信長が武田勝頼を破った長篠合戦においては、鉄砲が勝利の行方に決定的な影響を与えたといわれている。

【講評】

問1については(E)の正答率が低かったです。特に「会合衆」との誤答が目立ちました。

問3は鉄砲伝来について「種子島」「長篠合戦」「南蛮貿易」の関係性を問う記述問題でしたが、「長篠合戦の結果、鉄砲が多く輸入されるようになった」との答案が多かったです。正確には「鉄砲が多く輸入されるようになっていたから、長篠合戦のような戦術が可能になった」という因果関係になります。

(III)

【解答】

問1 ア 唐人屋敷 イ 海舶互市新例(長崎新令、正徳新令) ウ 隠元 エ 池大雅

オ 島原(島原・天草) カ 平戸 キ 風説書

ク 徳川吉宗 ケ 尚巴志 コ シャクシャイン

問2 (a) ③ (b) ③ (c) ② (d) ① (e) ④ (f) ③ (g) ③ (h) ② (i) ③ (j) ②

問3 (1) 大塩平八郎 (2) 小林一茶 (3) 山田長政 (4) 青木昆陽 (5) 高田屋嘉兵衛

【講評】

江戸時代の対外関係と文化に関する問題です。江戸時代は「鎖国」という言葉のイメージが強いのですが、この時代の社会・文化が中国・ヨーロッパ・朝鮮・蝦夷地・琉球などと密接に結びついていたことについて、さまざまな角度から出題しています。問1の空欄補充と問3の記述式問題の中では、問1イを「海舶互市新令」、エを「池野大雅」とする誤字がやや目立ちましたが、全体としては大変よく出来ていたと思います。マーク式の問2では、(b)と(g)の正答率が50%に達しませんでした。たしかにこれらはやや難しいのですが、(b)については幕府が直接支配していた都市はどこなのかということが手がかりになりますし、(g)については医者と著作の組み合わせだけでなく、問題文にある「蘭学を学んだ医者」のところをしっかりと読んだかどうかポイントになります。

(IV)

【解答】

問1 A 愛国公党 B 自由党 C 立憲改進黨 D 自由党 E 憲政党 F 立憲政友会  
G 立憲同志会

問2 ア 征韓論(明治6年) イ 民撰(民選)議院設立 ウ 大隈重信 エ 板垣退助 オ 国会(帝国議会)  
カ 二(2) キ 枢密院 ク 西園寺公望 ケ 桂園

問3 i ②、③(順不同) ii ①、⑤(順不同) iii ③ iv ①、③(順不同) v ①、③(順不同)

【講評】

日本近代における政党に関する問題です。問1の党名を問う問題は比較的正答率が高かったですが、Gの「立憲同志会」は正答率が低かったです。またBとDはそれぞれ「自由党」ですが、Dの正答率が低かったです。自由党を名のる政党は、明治から現代にかけて、何度か現われています。問2のイの「民撰議院設立建白書」は「民選議院設立建白書」も正答として扱いました。

### 3教科A方式 世界史

(I)

【解答】

問1 (ア) ② (イ) ③ 問2 ① 問3 ② 問4 ④ 問5 ②

問6 復讐法を定めたもので、同害報復を原則とし、誰かが人を傷つけた場合、罰は同程度のものでなければならぬの意。また、身分に応じて、許される報復の程度も異なっていた。

問7 ② 問8 ③ 問9 ② 問10 ③ 問11 ② 問12 ③ 問13 ③

【講評】

(I)は、オリエントや東地中海世界における文字文化の誕生や発展に関する基本的な知識を問うものでした。マーク式による設問では、多くの設問で8割から9割の正答率となっており、全般的によくできていました。空欄を埋める問1では、「アッカド」と「アムル」を取り違える回答もありました。メソポタミアの場所を尋ねる問2では、「イラク」が正解ですが、「パキスタン」や「ヨルダン」とする回答も目立ちました。また、アラム語やアラム文字についての誤った記述を選ぶ問13では、「インド＝ヨーロッパ系言語の一つである」というのが正答ですが、「イエスが話していた」を選んだものも多く見られました。

(II)

【解答】

問1 ④

問2-1 ③ 問2-2 ④ 問2-3 ① 問2-4 ②

問3 ③

問4-1 アクティウム (の海戦) 問4-2 クレオパトラ 問4-3 アントニウス

問5-1 ② 問5-2 ③ 問6 ② 問7 ③

問8-(あ) ディオクレティアヌス 問8-(い) ソルドゥスまたはノミスマ

【講評】

選択問題、記述問題とも高い正答率でした。選択問題で最も多かった誤答は、ペロポネソス戦争とペルシア戦争を混同して、問2-1で①テミストクレスを選んだ解答ですが、それぞれの戦争の歴史を描いた歴史家を答える問への正答率は高かったです。アケメネス朝ペルシア (問3) やコロナートゥス制 (問7) に関する問など、いくつか間違いやすい問題もありますが、どれも半数以上が正しく答えていました。記述問題の成績も概して良好でした。基礎的な事柄をきちんと学んだことを証明する高得点の答案が多かったのですが、残念ながらほとんど学んでいない結果としてのかかなり低い得点も見受けられました。

(III)

【解答】

問1 (1) ② (2) ② (3) ① (4) ③ (5) ④ (6) ③ (7) ② (8) ③ (9) ① (10) ③

問2 (ア) 平準 (イ) 屯田 (ウ) 孝文帝 (エ) 兩税 (オ) 地丁銀

【講評】

中国歴代の財政政策と税制度に関する出題でした。問1は全体的には正答率が高かったのですが、(1) (唐が東突厥と戦ったのを選ぶ)、(9) (康熙帝が鄭氏政権を降伏させたのを選ぶ) と(10) (袁世凱が孫文らの武装蜂起すなわち第二革命を鎮圧したのを選ぶ) が難しかったようです。問2は全体的にはまずまずでしたが、(ア)では「均輸」、(ウ)では「考文帝」という誤答が目立ちました。

(IV)

【解答】

問1 ② 問2 ⑤ 問3 ③ 問4 ① 問5 ③ 問6 ② 問7 ④ 問8 ③、④ (順不同)

問9 ③、⑤ (順不同) 問10 ③ 問11 ⑤ 問12 ①、⑥ (順不同) 問13 ②

問14 1936年に成立した人民戦線政府に対して、軍部のフランコ将軍が反乱を起こした。イギリス、フランスなどは、ソ連の進出を恐れて不干渉政策を取った。これに対してドイツ、イタリアは反乱軍を支援し、ソ連は政府を支援した。長期におよぶ内戦の結果、1939年、反乱軍が勝利した。



**【講評】**

コロンブスの新大陸到達から、ハプスブルク家の衰退、スペイン継承戦争、ナポレオン戦争を経て、20世紀の内戦にいたるまでのイベリア半島の歴史を概観した出題です。いずれの設問も基礎的な知識を問う出題なので、正答率は高い結果が出ました。問7では、「ヴァージニア」の誤答が目立ちましたが、ヴァージニアはイギリスが新大陸で最初に植民地を開いた場所だったことを思い出しましょう。問14の記述問題は、できている答案とできていない答案の差が目立ちました。重要な歴史事項については、大きな流れをきちんととらえておきましょう。

### 3教科B方式 国語

#### 一

##### 【解答】

問一 (1) 機知 (2) 粹 (「意気」も許容) (3) 避暑 (4) 難航 (5) 過敏  
問二 (6) きまじめ (7) てんぷ (8) しゃじ (9) けいみょう (10) まぎ

##### 【講評】

出題された漢字は、読み・書きとも高等学校の教科書で使用されているものです。全体に書きよりも読みの方がよくできていました。解答は、点画をはっきりと大きく、丁寧に書くよう心掛けてください。

#### 二

##### 【解答】

問一 ② 問二 ② 問三 ① 問四 ⑤ 問五 (1) ③ (2) ① (3) 誰の柿でもない～の仲間持ちや。  
問六 ⑤ 問七 ③・⑤ (順不同) 問八 ⑤

##### 【講評】

問一・問四は語彙力、問八は文学史の知識を問う基本的な問題で、高等学校の副教材『国語便覧』などを活用した学習を勧めます。問三・問五(1)は傍線部の前後をよく読んで、文脈に合った意味を判断します。問二・問五(2)(3)は主人公文吾の心理や独自の価値観を捉える問題、問六・問七は母と文吾の人物造形を読み取る問題です。いずれも選択肢を選ぶにはまず、本文に書かれていること、書かれていないことをはっきり見分けましょう。問五(3)の抜き出し問題はよくできていましたが、「一文」を抜き出せという設問の条件を見落としのために減点となる例が目立ちました。この大問で正答率が特に高かったのは問六・問七、低かったのは問八でした。

#### 三

##### 【解答】

問一 A ① B ⑤ C ③ 問二 a ⑤ b ③ c ⑥ d ④ e ⑧  
問三 (1) ② (2) ③ (3) ① (4) ② 問四 ② 問五 ④ 問六 空しき心地  
問七 ②・④ (順不同) 問八 ⑤

##### 【講評】

問一は基本単語、問二は基本的な文法を確認する問題です。問三は主語を答えさせて、敬語の使用や文脈から正確に読解できているかを確認しました。問四・問五は内容読解の問題です。問四は、直前の尊敬語「おはします」に着目しながら、文脈を読解します。問五は、何に対して「なかなか」と言い、何を「怠る」と言っているのかを読み取ります。問六は喪失感を端的に表す語句(上記)が正解ですが、間接的に表す語句を答えた場合にも中間点を与えました。問七は文章全体の理解度を問う問題。問八は基本的な文学史の問題です。この大問で正答率が特に高かったのは問一A C・問三(2)、低かったのは問一B・問五・問七でした。

#### 四

##### 【解答】

問一 A ⑤ B ① C ③ D ④ 問二 a ⑤ b ⑤ c ④ d ② e ① 問三 ②・⑤ (順不同)  
問四 X ① Y ⑤ 問五 進化とは、～とである。 問六 ③・④ (順不同)

##### 【講評】

問一は前後の文脈から判断します。問二は基本的な語句の意味を問うていますが、前後の文脈からも判断できるはずですが。問三は「あてはまらない」ものを選びます。本文では人間の退化には言及していません。また、環境への適応力については、それぞれの動物が「動物界の先頭に立っている」とあります。問四も前後の文章がヒントになります。Xは直後に「進化の逆行」、Yは前の行に「正の自然淘汰」とあることから判断します。問五はとてもよくできていました。波線部イで始まる文は、進化を遺伝子の頻度という観点で論じています。そのような言葉で進化を説明している一文を探します。問六は、全体の論旨を問う問題です。この文章の主旨である、一般に使われる「進化」と生物学用語としての「進化」の意味の違いを説明しているものを選びます。この大問は問三の正答率が低く、ほかは全体によくできていました。

### 3教科B方式 英語

B方式は大問3題が出題されました。2題は論説文で、あと1題は語法・文法問題が出題されています。マークシートで答える問題が多いですが、高得点を取るための勉強の仕方はA方式と変わりません。日ごろから学校の勉強を中心に基礎力をしっかりとつけておきましょう。

#### I.

##### 【解答】

問1. ④

問2. (A) ① (B) ④ (C) ① (D) ③ (E) ② (F) ② (G) ④ (H) ①

問3. (ア) ④ (イ) ③ (ウ) ② (エ) ③

問4. (1) ③ (2) ① (3) ② (4) ②

問5. 1. 前もってプログラムすることができない。

2. 創造性が必要とされる。

3. コミュニケーション技術など社会的知性が必要とされる。

問6. ④

##### 【講評】

人工知能の発達によりジャーナリストがロボットに取って代わられる日が来るのか、という問題を扱った論説文です。マーク式の問1～問4は、本文中の語句と意味が近いものを選ぶ問題や、動詞の適切な形を選ぶ問題ですが、一部を除きまずまずの成績でした。問5は本文中の three characteristics が何を指すかという問題で、その前の段落を読めばあまり難しくはないはずですが、preprogrammed の意味がわからない人もいたようです。問6は文章のタイトルを選ぶ問題で、あまり正答率が高くありませんでした。本文の一部ではなく全体の趣旨を表したものが正答になります。

#### II.

##### 【解答】

問1. (1) ④ (2) ① (3) ③ (4) ④ (5) ④

問2. (ア) ⑥、② (イ) ②、⑥ (ウ) ①、⑤

(それぞれ、この順で完答のみ)

問3. (A) ① (B) ② (C) ④ (D) ① (E) ④

問4. (1) ② (2) ② (3) ① (4) ② (5) ② (6) ①

問5. しかし、読み聞かせをされていない6歳から11歳の子どもの40%は、親が声を出して自分に本を読み聞かせることを続けてくれていたらよかったと調査員たちに話した。

##### 【講評】

子どもの読書習慣と親の果たす役割を論じた文章です。マーク式の部分は、空所に前置詞などを補充するもの、単語を並べ替えて正しい文にするもの、単語の英語での定義を完成させるもの、短文が本文の内容に一致するかどうかを判断するものでした。マーク式の設定は全体的にまずまずの正答率でしたが、問5の英文和訳の出来はあまりよくありませんでした。…who are not read to…の部分は“read to (…に読んで聞かせる)”の受身形を含んでいます。…wish their parents had continued…の部分は過去の事実と反する仮定を表して「親に…を続けてほしかったと思っている(実際は続けなかった)」の意味ですが、「…続けてほしい」と現在のことのように書いた人が多いのは残念でした。基本的な文法事項が定着していないと和訳の問題では得点できません。

#### III.

##### 【解答】

A. (1) ① (2) ② (3) ② (4) ③ (5) ③ (6) ④ (7) ② (8) ① (9) ① (10) ④

(11) ③ (12) ④ (13) ④ (14) ① (15) ③

B. (1) ② (2) ② (3) ④ (4) ② (5) ① (6) ②

C. ① ③ ④ ⑦ (順不同)

##### 【講評】

文法・語法・イディオムなどに関するマーク式の問題で、大部分は基本的なものです。この大問は日ごろからの地道な勉強がものを言うところであり、ほとんど正解できるぐらいにしておいてほしいと思います。

### 3教科B方式 日本史

#### (I)

##### 【解答】

問1 ア 日本書紀 イ 藤原基経 ウ 醍醐 エ 藤原道長 オ 清少納言

問2 (a) ① (b) ④ (c) ④ (d) ② (e) ③ (f) ② (g) ③ (h) ② (i) ③ (j) ④  
(k) ② (l) ③ (m) ③ (n) ② (o) ④

##### 【講評】

奈良～平安時代の歴史史料に関する文章を読み、この時代の政治・社会・文化についての設問に答える問題です。問1の空欄補充は、いずれもごく基本的な事項であり、よくできていました。マーク式の問2では、(a)・(f)・(h)・(i)・(m)の正答率が50%を下回っていました。(a)は実質的には『古事記』と『日本書紀』の前後関係を尋ねるものです。(f)は選択肢③と正解②との間で迷った受験生が多かったようで、吉備真備の帰国がいつ頃かの判断はやや難しかったかもしれません。(h)のような問題では教科書の地図を見ているかどうかが重要となります。(i)はそれほど難しい問題ではありませんが、④を選ぶ受験生がかなり多かったです。(m)の誤り③については、いわゆる寄進地系荘園で、地方の豪族は寄進する側であり、寄進されて荘園を所有した貴族や寺社が本家・領家などと呼ばれたという点を理解しておく必要があります。

#### (II)

##### 【解答】

第一問 問1 承久の乱 問2 寄

第二問 問3 ③ 問4 ② 問5 ①

第三問 問6 ② 問7 ① 問8 ② 問9 ③ 問10 ③ 問11 ④ 問12 ④ 問13 ②

##### 【講評】

第二問の3題はそれぞれ連関して答える問題でしたが、総じて正答率が低かったです。紛らわしい人名は、それぞれ正確にキーポイントを理解しておく必要があります。

第三問の中では、問11と問12の正答率が低かったです。問11の正答は「奉公衆」となります。あまり馴染みのない言葉ではありますが、教科書によってはゴシック体になっている用語でもあります。問12は③か④が難しいところで、実際に、誤答の多くは③を選んだものでした。やはり、紛らわしい用語については正確にキーポイントを押さえておく必要があります。

#### (III)

##### 【解答】

第1問 (1) ② (2) ⑤ (3) ① (4) ③ (5) ④

第2問 (6) ② (7) ③ (8) ④ (9) ③ (10) ③ (11) ④ (12) ① (13) ② (14) ④ (15) ①

##### 【講評】

第1問は互いに連関し合う問題でしたが、正答率はきわめて高かったです。

正答率が低かったのは第2問の(6)(14)(15)でした。(6)は日光東照宮との引っかけ問題でしたが、実際に「④栃木県」を選ぶ誤答が非常に目立ちました。(14)(15)は、それぞれ紛らわしい選択肢を並べた問題でした。並べ方としては、参考書などのテスト問題にありがちなものとなりましたので、事前の繰り返し勉強が必要とされます。

#### (IV)

##### 【解答】

問1 ア 佐久間象山 イ 日本海(対馬) ウ 飛脚 エ 東京 オ 日本放送

問2 a ① b ③ c ② d ③ e ③ f ⑤ g ④ h ② i ③ j ④

##### 【講評】

日本近代における通信に関する問題です。問1のイ～オは正答率が高かったですが、アの「佐久間象山」の正答者は僅かしかいませんでした。問2 a～jの小問はaの電信開業の年次を問う設問の正答率が低かったです。cの前島密は印象的な名前の故か、正答率が高かったです。

### 3教科B方式 世界史

#### (I)

##### 【解答】

- 問1 (1) ② (2) ③ (3) ② (4) ③  
問2 (ア) 皇后 (ヤ妃) の一族 (イ) 則天武后  
問3 (5) ④ (6) ① (7) ③ (8) ② (9) ① (10) ④  
問4 (ウ) ファン=ボーイ=チャウ (エ) 汪兆銘 (オ) モンゴル人民共和国

##### 【講評】

中国の王朝交替に関する(A)と東アジアの近代に関する(B)の2つの文章が出されました。問1は正答率が高かったです。(3)は②だけが明王朝について述べているのですが、選びにくかったようです。問2は、(イ)「則天武后」がよくできていました。問3は、(10)以外は正答率が低かったです。朝鮮の近代史や中国の現代史は近隣国との関係を含めて勉強しておくのがよいでしょう。問4は、(ウ)「ファン=ボーイ=チャウ」はよくできていましたが、(オ)「モンゴル人民共和国」はやや難しかったようです。

#### (II)

##### 【解答】

- 問1 ② 問2 ② 問3 ④ 問4 ① 問5 ③ 問6 ④ 問7 ② 問8 ② 問9 ②  
問10 ④ 問11 ② 問12 ④

##### 【講評】

(II)は、イスラーム世界の形成についての基本的知識を尋ねる問題でした。全体的によくできており、多くの設問で8割から9割の正答率でした。問2は、イスラーム誕生直前のアラビア半島の宗教状況を尋ねる問題です。この時代、地域によってはユダヤ教やキリスト教が優勢ではありましたが、大半の人々は多神教を信仰していました。シーア派に関する説明として誤っているものを選ぶ問8では多くの人が正しく答えていましたが(「指導者である歴代のイマームは、ムスリム全員の合意によって選出された」、他方で、「シーア派では、正統カリフの最初の3人の権威を認めていない」を選んだものも少し目立ちました。

#### (III)

##### 【解答】

- 問1 ④ 問2 ① 問3 ② 問4 ③ 問5 ② 問6 ④ 問7 ② 問8 ① 問9 ② 問10 ③  
問11 ① 問12 ② 問13 ①

##### 【講評】

現在のドイツにあたる地域を中心に、その周辺の国々や関連性のある世界の各地域についての知識を問う問題でした。Aでは神聖ローマ帝国の成立と制度改革を扱いましたが、問1と問2の正答率は8割以上と高く、選帝侯に含まれないものを選ぶ問4も半分以上の人が正解していました。宗教改革期に関する設問の多いBでは、問5の正答率が9割に近く、問7と問9も7割以上の人が正解していました。フェリペ2世にちなんで名づけられたフィリピンに関する問6と、スペインの新大陸植民地に関する問8のみ、やや難しかったようです。Cではプロイセンとオーストリアの関係が中心ですが、問13が7割程度、それ以外は全て8割以上の正答率で、知識の整理がしっかりできていることをうかがわせる結果でした。

#### (IV)

##### 【解答】

- 問1 ③ 問2 ② 問3 ③ 問4 ① 問5 ② 問6 ① 問7 ③ 問8 ④ 問9 ④ 問10 ④  
問11 ⑤ 問12 ⑤ 問13 ④ 問14 ④ 問15 ③ 問16 ② 問17 ① 問18 ① 問19 ⑤ 問20 ④  
問21 A カエサル B チンギス=ハン C ナポレオン D スターリン E ヒトラー

##### 【講評】

良かれ悪しかれ、世界の歴史に大きな足跡を残した人物を問う出題です。いずれも大変よく知られた人物なので、正答率は比較的高いものでした。その中で誤答が目立ったのは、チンギス=ハンに関わる設問で、バトゥ、フビライなどの区別があいまいな答案がありました。またヒトラーの出身地や、ナチスの正式名称などにも誤答が目立ちました。問21はさすがに出来が良く、8割がたの答案が全問正解でした。

## 総合小論文方式

今回のテーマは、子どもの発達に対する早期対応の意義と課題でした。

問1は、「落書き」への対応に関する新聞記事を読み、「割れ窓理論」とはどのようなものなのか考え、社会問題への早期対応の意義について説明する問題でした。文章と文章とを比較し、そこから共通する意味を抽出する力を問いましたが、一部の文章のみから考察する解答が見られました。

問2は、早期教育を受けている子どもが受けるストレスに関するデータを読み取る問題で、表とグラフから数値の意味を読み取る力を問いました。多くの解答がデータをしっかりと読み取ることができていましたが、一部、データから読み取ることのできることを想像で述べているものが見られました。

問3は、乳幼児からの早期の発達支援の大切さを報告した英語資料を読み取る問題でした。貧困や紛争等の新聞に掲載されているような世界的な社会問題への関心をもっていれば、英文読解の助けになったことと思われま

す。問4は、問1から問3までのすべての資料をふまえて、子どもの発達支援や社会問題の解決への早期対応に関する総合的な考察を行う問題でした。問題から与えられた条件としての3つの資料・観点すべてにはふれずに一部のもののみから考察する解答や、資料を根拠とせずただ自分の経験を綴るだけの解答が見られました。

総合的に講評すると、鳥の目と虫の目をもつ、数値やグラフからわかることとそこから想像されることを区別する、社会問題への関心を広げる、事実・根拠をもとに多角的に思考する、そういったことに挑戦していかれることを願っています。